

寺報

龍正寺

日なた 89号

日々
の
報
恩
感
謝
謝
徳
日
廷


<平成27年10月>

宝龍会
護持会

秋季彼岸中日法要会 開催しました

平成27年9月23日



お題目を唱えながら太鼓を叩きます

宝雲山龍正寺(岐阜市)



ご先祖様、身内の方の供養に思いを込めて…



佐口上人の法話



お供えを頂きながら、色々な話ができました

好天に恵まれたシルバーウィークの最終日、秋季彼岸中日法要会が開催されました。檀信徒の皆さんそれぞれが思いを込めて一生懸命に先祖供養をされました。

「彼岸とは悟りの境地 此岸とはこの欲の世界」というお題で佐口上人の法話がありました。

法要終了後は皆さんがお供えになった、おはぎ・お団子を食べながらの振り返り。「今年は大祭の時の10分前太鼓を叩くことを目標にがんばってやってきて、その目標が達成できた」等の感想が聞かれました。その他に11月に予定されている団参等の話題も出て和やかな雰囲気法要を終えることができました。

※11月の団参ですが、まだ人数に余裕があります。まだ申し込まれていない方で興味がある方、寺院又は役員までお問い合わせ下さい。

任職の一言

10月5日宗祖日蓮大聖人報恩お会式会です。

私は僧侶の道へ入って、55年余りになります。祖母が尼僧であり、教会を開らいており、その関係で僧侶になり、現在は教会から寺院に昇格し、任職を務めさせていただいております。

毎日、法華経を読誦し、お題目を唱えさせていただいております。

お会式会は大聖人様を偲び、1ヶ月間の反省とし、明年のお会式会に向って仏道修行をいたしております。

私は幼いころ坊さんになる事など頭にもなく、小僧生活をしてまいりました。年頃になると、衣を着て歩く事すら恥ずかしく思いました。祖母が亡くなり、後を継ぎ、教会の担任・寺院の任職となってからは毎日が難行、苦行でしたが、法華経を一心に読誦し、お題目を唱えていると不思議な事が起きはじめてきました。孝えてみると私は、幼いころは体が弱く

毎日医者通いでした、小僧生活にみって、お題目を
唱える様になってからは、少しづつ体がよくなり医者知
らずになっていました、50代後半には大病をし
ましたが、大難は小難になっておきます、今では僧侶
なり法華經、お題目に感謝いたしております、1人でも
多くの方に心を分かち与えて、行きたいと思う毎日です。
宗祖日蓮大聖人様の御陰で、現在の私たろは法華經に
お題目に巡り合わせていただき、報恩感謝を申し上げ
る事はかりです、私たろの回りには大聖人様がいてくださ
り心強く思っております。

61歳で御遷化されるまでの大聖人様の御生活は難行苦行の
毎日でありました、私の生活とは比べものにはなりません、日々の
感謝の心をもって、一歩でも近づける様、仏道修行に励み
精進し、日蓮大聖人様の御心と法華經を多くの方々に弘め、伝
えて行き安穏な家庭、社会にお役に立てればと思っております。
宗祖日蓮大聖人第734遠忌報恩お会式会に報恩感謝
申し上げます。

南無妙法蓮華經

♡ 心に余裕を ♡

(自己をみつめる)

ミスを起こす時は、心が落ち着いていないことが多い。

イライラしたり、時間に余裕がない時、他事を考えていて現状に心がない時、ミスは起こります。

50才を過ぎて「忘れるミス」が多くなりました。老化かな？と…。

イヤな事を忘れる事は有り難いが、忘れて困る事ばかりをよく忘れてしまう。

先日、仕事上でミスがあり上司から「自信のある行動を」と言われました。

上司と振り返りと今後の対策を話し合った時、自分の行動を自信を持って話せませんでした。

「ど〜だったかな？」曖昧な記憶で自分の行動がはっきりと思い出せませんでした。

ひょっとして、認知症の兆し？と不安になった。そして…仕事中に意識せず、無意識に行動していたと反省しました。

日々の仕事内容を単々と繰り返す中で、体が動作として身についており、意識する事のない行動が、仕事の見落とし(忘れる)に気づく事が出来なかつたと反省しました。

生活の中で心と体はいつも同じ状態ではありません。

だからこそ、心に余裕を持てるようになりたい。

では…心の余裕は、どの様にすれば出来るだろうと考えます。

心の余裕は心が落ち着く事です。

どの様な状況が起ころうとも、物事を冷静に受け止めて現状を
みつめる事で、次の行動を考える事が出来る。それがミスをしない秘訣
ではないでしょうか。

では、どのようにすれば心の余裕が持てるのか？

仏教(仏様のお教え)は自分をみつめる事ができます。

私は今、自分をみつめる事で、心の余裕を持つようにしています。

少しづつですが、50才を過ぎてもまだまだこれから、人として成長して
いる事を楽しんでいます。老化・認知症という言葉であきらめたりせず
に、これからの人生もイキイキと楽しく生きたいと思えます。

ひとつずつ年齢を取るたびに、体・心が落ち込みやすくなります。

人生80才から100才の時代です。寿命が長い分、少しでも楽しく過ごせ
るように、心に余裕を持ちたいですね。

お墓参り

9月末に家族3人(私と母と、4才下の弟)で山梨までお墓参りへ行きました。

我が家は恒例で甲府市にある武田神社へ参拝し、その後にお墓参りをしています。

今年は身延山へも行き、母は両親の回向、私は祈願をしてきました。

身延山にある奥の院へも行くことができたが、山いっばいに霧がたちこめ10m先が見えない状況でした。

私はせっかく来たのに富士山や七面山がみれなくて残念がっていると、母が「また、来なさいと言うことだよ、すべてが片付いたらみんなで行こうね」との言葉。

母からそんな言葉が出ると思っていなかったのがびっくりしました。

母は弟に「私が死んだらここで永代供養をしてほしい」と話をしていました。

弟からは、そういう話ができて良かった、という言葉が

聞かれました。

身延山の参拝の後に お墓参りに行きました。

急な暑さの中、弟は草が生い茂るお墓周囲を
きれいにしてくれ、墓石もきれいに拭いてくれました。

私がお墓の前でお経を読んでいると母も一緒に
読んでくれていました。

帰りの車の中では弟が肩を動かさ、「あれ？あれ？」
と言うので、「どうしたの」と聞くと、「いやね、1ヵ月位
左肩というか左腕が後ろの方へ動かかすことができなかつた
のが重かったのと、体がなんか楽になった」と言い
不思議そうな顔をしていたのです。

私も母も「ご先祖様がお墓参りしてくれ、きれいに
してくれたから、お礼したんじゃないの」と話をあきらめることが
できました。

とても充実してお墓参りでした。毎年1回はお墓参りに
行けるようにしていきたいと思いました。

感謝、感謝の一日でした。

— 私達の命 —

朝晩涼しくなり秋らしくなってきましたね。
秋は運動会シーズン。我が家は、中学校、幼稚園と2日連続で運動会がありました。子ども達の一所懸命な姿は、いくつになっても感動するものです。幼稚園児の息子は初めての鼓笛と組体操に挑戦しました。中学生の娘は応援団に立候補。団を引、張る姿に昔の引込み思案な姿を重ね、成長をとても嬉しく感じました。

その娘達の運動会練習も山場を迎えていたある日、同級生の子が急性心不全で亡くなりました。親御さんの気持ちを思うと辛くて逃げたくなるような現実…。子ども達の間でも、その衝撃は大きく、1人1人が生死について考えさせられたことと思います。普通に生活することが当たり前ではなく有難いこと、冗談でも「死ぬー!」とか言うのはやめよう。今を精一杯生きよう…。

また、思春期の子ども達の事件も後をたぢません。
先日は、自殺願望のあった子に頼まれて、友達が
その子を刺し殺すという事件もありました。どんな
理由があっても、与えられた命を大切にしていほしい
と願います。

日蓮大聖人のお言葉「蔵の財より身の財すく
れたり、身の財より心の財第一なり」が胸に
しみます。日々生かされていることに感謝をし、私
達の命の源である父母、ご先祖様を大切にしてい
きたいです。

<寺院行事内容>

10月11日<日> 午前10時～読誦会
午後1時～宗祖日蓮大聖人報恩お会式会
(734重恩)
佐渡法難会

10月18日<日> 午前10時～鬼子母神・七面大明神祈禱会
大石久尊天祈禱会

<位職行事内容>

10月15日<木> 夕方5時～修法師会壮行会

10月21日<水>～
22日<木>

宗務所護法回参

10月30日<金>

教化研究会議 <勝川>

<10月の予定>

10月4日<日>

お会式会準備・花飾り付け
各々時間で清掃・準備活動

10月10日<土>

お会式会準備

10月11日<日>

法要終了後片づけ

}

各々時間で清掃・準備
活動

10月18日<日>

法要終了後片づけ

御協力にお願いいたします。